

学術論文募集

若手あるいは中堅研究者対象の論文を募集いたします。

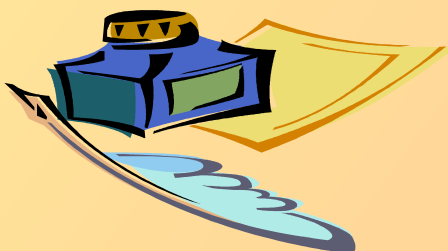
- ・掲載誌 『マネジメント・ジャーナル』 第3号
- ・対象 大学院生を含む若手、中堅研究者
- ・論題 自由論題あるいは統一論題
統一論題主題……経営学の対象の見直し
(統一論題は一部、寄稿を含む)
- ・枚数・形式 1,200字/枚で20枚前後(図表、注、参考文献含む)
A4用紙、横書き
- ・締め切り 2010年11月30日(火)消印有効
- ・提出物 印刷物およびUSB(USBは、後日返却)
- ・提出先 〒259-1293 神奈川県平塚市土屋2946
神奈川大学 国際経営研究所
『マネジメント・ジャーナル』編集委員会宛
- ・掲載基準 複数の査読委員による審査を経て、編集委員が掲載の可否を決定し、2011年1月末までに本人宛に通知
- ・発行日 2011年3月末予定
- ・執筆要領 ホームページ参照 <http://iibm.kanagawa-u.ac.jp>

連絡先 神奈川大学 国際経営研究所

電話 0463-59-4111(内線2200) ファックス 0463-58-9683

e-mail iibm-shounan@kanagawa-u.ac.jp

kawasw01@kanagawa-u.ac.jp



国際経営研究所機関誌『マネジメント・ジャーナル』

執筆要領（標準）

1. 原稿全体量

A4 原稿用紙、1枚 40字×30行で 20枚程度

（表紙をのぞき、注、参考文献、図表を含むすべて。ただし注、参考文献の文字サイズは和文、英文とも 10ポイントとする）

2. 全体構成

表紙（原稿枚数には加えない）

（2行空け）

① 論文表題：MS ゴチ 16ポイント、中央揃え

② 論文副題：—○MS ゴチ 14ポイント、中央揃え○—

（○は全角アケ、以下同様）

（2行空け）

③ 英文表題：Century14Point, Center

④ 英文副題：—○Century12 Point, Center○—

（2行空け）

以下、和文はMS 明朝 10.5ポイント、英文は Century10.5Point、中央揃え

⑤ 氏名（しめい）：〈例示〉国経研 秀一（姓と名間、半角アケ）

⑥ 英文氏名（えいぶんしめい）：〈例示〉Kokkeiken Shuichi（姓と名間、半角アケ）

⑦ 所属機関名（しょぞくきかんめい）：

⑧ 所属部署名○肩書（しょぞくぶしょめい○かたがき）：

⑨ 連絡先住所（〒含む れんらくさきじゅうしょ）：

⑩ 連絡先電話番号(P)、ファックス番号(F)、メールアドレス(M)：

論文要旨、キーワード（1 ページ）

（2行空け）

- ① 論文表題：MS ゴチ 16 ポイント、中央揃え
- ② 論文副題：—OMS ゴチ 14 ポイント、中央揃え—

（○は全角アケ、以下同様）

（2行空け）

- ③ 英文表題：Century14Point, Center
- ④ 英文副題：—○Century12 Point, Center○—

（2行空け）

- ⑤ 所属、氏名（和文）右揃え：〈例示〉 神奈川大学 国経研 秀一
- ⑥ 所属、氏名（英文）右揃え：〈例示〉 Kanagawa University Kokkeiken Shuichi

（2行空け）

- ⑦ 和文要旨：40 字/行×10 行＝400 字程度。段落冒頭の字下げ不要。
- ⑧ 和文キーワード：3 から 5 程度

（2行空け）

- ⑨ 英文要旨：和文要約と同内容。段落字下げ不要。
- ⑩ 英文キーワード：和文キーワードと同内容。

論文構成（2 ページ～）

（2 行空け）

章：MS ゴチ、12 ポイント、中央揃え

（1 行空け）

節：MS ゴチ、11 ポイント、左端揃え

項：MS ゴチ、10.5 ポイント、1 字下げ左端揃え

文中箇条書き：2 字下げして、中点（・）あるいは①②③…のいずれかとする。
文中注、参考文献表記：（ ）内文字サイズは、すべて 10 ポイントとする。また英文字体はすべて Century とする。

[文末注]:文末に肩つき注で表記。〈例示〉相補の考えは…である¹⁾。

[参考文献]:文末にパーレン（ ）で表記。

年度は実際に参考にした文献による表記とする。

〈和文例示〉（会田、1991）（市村、上野、1850）

（小野、加藤、須田、1920；佐藤、1935）（木内、1999a、1999b）

〈英文例示〉（Powell, 1970）（Daft, Friedman, 2008）

（Scott, 1984; Kratz, Wagner, 1987）（March, 2006a, 2006b）

または、

文中にパーレン（ ）で表記。〈例示〉バーナード（Barnard, 1943）によれば、

文中注は、巻末に[注]とし、左揃えで 1)から昇順に並べる。

参考文献は、巻末の[注]の後に[参考文献]とし、ローマ字、カタカナ、漢字の順とする。

まず欧米人名は左揃えでローマ字イニシャル「A,B,C,D,E」順、次に翻訳書参考の場合、外国人名はカタカナ イニシャル「アイウエオ」順とする。さらに漢字で表記されている日本人を含む東南アジア人は漢字イニシャルの読み「あいうえお」順に並べる。

文中図表表記：

図表ともに、それぞれ図 1、図 2、…、表 1、表 2、…、とし、表記位置は対象図表の上部中央とする。また引用図表の場合、出典を図表の下部左端揃えで明記する。表記方法は、下記参考文献表記に同じ。

巻末参考文献表記：和文は MS 明朝 10 ポイント、洋文は Century 10 ポイントとする。

1) 和単独論文

浅田薫「新情報共有化時代の到来」『未来経営』未来経営社、第 1 巻第 1 号、2010 年 5 月、5-14 ページ。執筆者名 論文名かぎカッコ（「」） 雑誌名二重かぎカッコ（『』） 出版社、発行巻号、出版年月、当該ページ（n-x ページ）

- 2) 和共同論文
今田栄、足知満足、津田雅彦「新情報資源の姿」『資源経営』土屋経営経済社、第5巻第2号、2000年6月、15-24ページ。共同執筆者名 論文名かぎかっこ(「」) 雑誌名二重かぎかっこ(『』) 出版社、発行巻号、出版年月、当該ページ(n-xページ)
- 3) 和単著書
川田和歌子『地域の線引き』湘南出版社、2008年、第2版第3刷、25-31ページ。著者名 著書名二重かぎかっこ(『』) 出版社、出版年、版刷、当該ページ(n-xページ)
- 4) 和共著書
工藤君子、佐藤則之『温暖化の実態』湘北出版社、2007年、第2版第1刷、37-50ページ。著者1、著者2 著書名二重かぎかっこ(『』) 出版社、出版年、版刷、当該ページ(n-xページ)
- 5) 和編著書中の特定論文
田中節三「西と東の文化交流」、千田勝編『新時代の国際交流』学友社、2008年、第1版第1刷、23-61ページ。執筆者名 論文名(「」)、編者名 書名二重かぎかっこ(『』) 出版社、出版年、版刷、当該ページ(n-xページ)
- 6) 洋単独論文
Campbell, S. "Social Entrepreneurship: How to Develop New Social-purpose Business Ventures," *Health Care Strategic Management*, Vol.7 No.2, May 1998, p. 17, 8. 執筆者名(姓、名前イニシャル)、“論文名、” 雑誌名イタリック、Vol. No. 出版月 年、当該ページ
- 7) 洋共同論文
Ray, G., Barney, J. B. and Muhanna, W. A. "Capabilities, Business Processes, and Competitive Advantage: Choosing the Dependent Variable in Empirical Tests of the Resource-based View," *Strategic Management Journal*, Vol. 25 No. 1, January 2004, pp. 23-37. 共同執筆者名(苗字、名前イニシャル1、苗字、名前イニシャル2、and 苗字、名前イニシャル3) “論文名、” 雑誌名イタリック、Vol. No. 出版月 年、当該ページ(n-xページ)
- 8) 洋単著書(訳書)
Takacs, D. *The Idea of Biodiversity: Philosophies of Paradise*, The Johns Hopkins University Press, 1966, 1st.ed., pp. 156-9. (タカーチ、D. 狩野 秀之、他訳『生物多様性という名の革命』日経BP社、2006年、初版1刷、183-5ページ。) 著者名、書名イタリックス、出版社、出版年度、版刷、当該ページ
- 9) 洋共著書
Crane, A., Matten, D., and Moon, J. *Corporate Citizenship*, Cambridge University Press, 2008, 1st.ed., pp. 157-9. 著者1、著者2、and 著者3(いずれも苗字、名前のイニシャル) 書名イタリックス、出版社、出版年度、版刷、当該ページ
- 10) 洋編著書中の特定論文
Young, O. "Building Regimes for Socioecological Systems: Institutional Diagnostics," in Young, O., King, L., and Schroeder, H. (eds.) *Institutions and Environmental Change: Principal Findings, Applications, and Research Frontiers*, The MIT Press, 2008, 1st.ed., pp. 115-44. 著者名 “論文名、” in 編者名(単独編者 ed. 複数編者 eds.) 書名イタリックス、出版社、出版年度、版刷、当該ページ